

①

下線がついたカタカナを漢字に直しなさい。 解答付き

1. 資格取得者以外は、その資格を名乗って仕事をする事ができないことをメイショウドクセンという。(名称独占)
2. 福祉専門職が守るべき義務の一つにヒミツホジがある。(秘密保持)
3. 社会参加ができず、社会問題のひずみを受けている状況を、シャカイテキハイジョという。(社会的排除)
4. 判断能力が不十分な利用者に対するケンリヨウゴの必要が高まっている。(権利擁護)
5. カイゴホケンセイドの保険者は市町村とされている。(介護保険制度)
6. 児童相談所は、都道府県に設置がギム付けられている。(義務)
7. 日本国憲法第 25 条はセイゾンケンの保障を目的とする。(生存権)
8. 利用者負担の考え方には、支払い能力に応じて負担を求めるオウノウフタンがある。(応能負担)
9. 国民健康保険の保険料は、セタイタンイで算定される。(世帯単位)
10. 福祉専門職者は、利用者のシュタイセイの尊重や、プライバシーの保護に留意しなければならない。(主体性)
11. インフォームド・コンセントとは、医師とカンジャとの間で行われる「説明と同意」を指す。(患者)
12. 障害者の就労支援では、ハローワークや福祉施設、企業などのほかに、トクベツシエンガッコウにも参画する。
(特別支援学校)
13. ラポールとは、援助者と利用者との間のシンライカンケイを基盤とする専門的な関係のことである。(信頼関係)
14. 面接に用いる基本的な技術として、傾聴、キョウカン、支持、質問などがある。(共感)
15. シャカישイゲンとは、福祉ニーズを充足するために活用される人材や資金、物品、情報などをいう。(社会資源)
16. フォーマルな援助とは、コウテキキカンや専門職のことをいう。(公的機関)
17. コジンジョウホウホゴホウは、2005 (平成 17) 年に施行された。(個人情報保護法)
18. 理事は法人を代表し、業務以上のイシケツテイを行う。(意思決定)
19. 法人とは、取引における人間固有の権利や義務を、法律によって組織体そのものに人格およびケンリノウリョクを与えたものである。(権利能力)
20. コンプライアンスは、ハウレイジュンシュという意味で使われることがある。(法令遵守)
21. ショウヒシャホゴのためにクーリングオフの制度が設けられている。(消費者保護)
22. 公務員が職務上、故意または過失により損害を与えた時は、国または地方公共団体にバイショウセキニンがある。(賠償責任)
23. ホゴシは、法務大臣から委嘱を受ける非常勤の国家公務員である。(保護司)
24. 刑事施設とは、刑務所、少年刑務所およびコウチショのことである。(拘置所)
25. シツゴとは、言葉のやりとりができなくなることである。(失語)
26. 排泄の失敗が起こることをシッキンという。(失禁)
27. せん妄はイシキショウガイの一種で、軽度あるいは中程度の意識低下がおこり、幻覚、不安、恐怖などの加わった状態をいう。(意識障害)
28. 知的障害の中核的な分野の一つとして、知能の発達の遅れ、すなわちチタイがあげられる。(遅滞)
29. 言語障害の一つであるコウオンショウガイには、調音の異常または語音の発音異常などがある。
(構音障害)
30. テキオウキセイとは不満や不安から自分を守るためにとられる心の動き一つである。(適応機制)